



事務局：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-14-2（新陽ビル7階）

TEL：03-5155-7576 FAX：03-5155-7578

E-mail jaeis-jimu@jaeis.org <http://jaeis.org/>

第7回全国大会開催にあたり

第7回全国大会実行委員長 小松川浩（千歳科学技術大学）

この度、日本情報科教育学会（JAEIS）の第7回全国大会を千歳科学技術大学（北海道千歳市）で開催する運びとなりました。北海道では初めての開催となり、今回の大会を契機に北海道の情報科教育のさらなる活性化に繋がればと大変期待しております。大会の運営に携わり準備を進めて頂いた学会関係の皆様には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

本年度の全国大会では、第6回大会に引き続き、高等学校での新学習指導要領の実施にあわせて、情報科教育に携わる多くの教育研究者、教育実践者の参加・発表を募り、情報共有の場を形成することを目的として開催致します。さらに、社会につながる情報科教育の役割について広く情報交換を図るために、海外との連携に関する事例や大学と高校との接続に関する事項なども取り入れながら、会員間及び連携可能な様々なステークホルダーとの意見交換を図れる大会運営を行う企画を立てております。こうした多面的な角度からの情報科教育の推進という観点から、大会テーマを「重層的な情報科教育の推進」と致しました。是非、既成の概念に縛られず、広い視点に立って議論を頂き、多くの皆様方の知の交流が図られることを期待しております。

年に1度の全国大会では、例年、約200名の参加者と共に、4つの分科会で60件近い口頭発表とポスター発表、時事のトピックを公開で議論する企画セッション、招待講演、初等中等教育現場の教員および大学教員、関連企業、そして行政関係者も交えてのパネル討論等、2日間の大会期間中に数多くの企画が計画されます。今回7月の海の日開催ということで、北海道では最も過ごしやすい次期を選定し、北海道外からも多くの参加者にお越し頂くことになりました。さらに、協賛である教育システム情報学会の第二回研究会（ICT活用教育）とも連動して大会を運営することから、関連する研究者も多数参加して頂きました。多方面で活躍される皆様方の熱心な議論を通じて、新たな知の創出に繋がることを願っております。



本号目次

第7回全国大会開催にあたり	1	第2回研究会報告	10
第7回全国大会概要	2	九州・中国・四国支部2013年度総会・研究会報告	11
第7回全国大会プログラム	3	事務局からのお知らせ	12
東海・中部支部設立	9		

第7回全国大会概要

第1日 2014年7月19日（土）

- 11:30～13:00 理事会・評議会（会議室）
- 12:00～ 受付
- 13:00～14:15 研究発表1：口頭発表（B～E会場）
- 14:25～15:05 総会（A会場）
- 15:05～15:15 開催校挨拶（A会場）
- 15:15～15:45 基調講演（A会場）
岡本 敏雄（本学会会長・京都情報大学院大学）
『普通教科「情報」、専門教科「情報」をメジャーな教科にするための条件』
- 15:50～16:30 招待講演1（A会場）
豊嶋 基暢（文部科学省生涯学習政策局情報教育課 課長）
『教育の情報化の動向』
- 16:30～17:30 招待講演2（A会場）
金 顯哲（高麗大学校・韓国コンピュータ教育学会会長）
『韓国の高等学校の情報教育の現状』
- 17:30～18:30 ワークショップ（F会場）
『タンジブルブロックを利用した授業展開』
権 大容, 沈 載權（高麗大学校）
- 19:00～21:00 懇親会（ANAクラウンプラザホテル千歳）

第2日 2014年7月20日（日）

- 9:00～ 受付
- 9:15～10:30 研究発表2：口頭発表（B～E会場）
- 10:45～12:00 研究発表3：口頭発表（B～E会場）
- 12:00～13:00 （昼休み）委員会／研究部会の会議（B～E会場）
- 13:00～14:00 デモンストレーション発表（A会場）
- 14:00～14:50 ポスター発表コアタイム（ロビー）
デモンストレーション展示（学生ホール）
- 15:00～16:00 招待講演3（A会場）
董 玉琦（東北師範大学・中国教育部 基礎教育課程教材専門家委員会
情報技術学科 実行委員）
『中国における情報教育の展開』
- 16:10～17:40 パネルディスカッション（A会場）
『情報科教育の国際比較』
パネリスト：
金 顯哲（高麗大学校）
董 玉琦（東北師範大学）
指定討論者：岡本 敏雄（京都情報大学院大学）
司会：西野 和典（九州工業大学大学院）
- 17:40～18:00 クロージング（A会場）

第7回全国大会プログラム

第1日 2014年7月19日 (土)

研究発表1：口頭発表 7月19日(土) 13:00～14:15

【B会場】 1-B1「ロボット・フィジカルコンピューティング」
座長 西 正明(信州大学) 倉光 貴子(九州工業大学)

- 1-B1-1 TABシールド教材キットを使った統合的な情報科教育の効果
高本 孝頼(NPO法人3Gシールドアライアンス)
- 1-B1-2 マイコンカーの速度調整機能と走行シミュレーション
西 正明(信州大学)・五十嵐 一馬(信州大学大学院)
- 1-B1-3 学校設定科目「フィジカルコンピューティング入門」の実践
～教科横断の問題解決学習や反転授業を取り入れた授業展開～
天良 和男(東京都立小石川中等教育学校)
- 1-B1-4 Arduinoを用いたフィジカルコンピューティング教育環境の充実
堀内 泰輔・宮崎 敬(長野高専)
- 1-B1-5 ロボット組み立て体験を通じた問題解決学習の実践
～小学生を対象としたグループ学習～
倉光貴子(九州工業大学)・池田勇(嘉麻市教育センター)・
西野和典(九州工業大学大学院)

【C会場】 1-C1「教員養成」「人材育成」
座長 鷹岡 亮(山口大学) 吉岡 有文(立教大学)

- 1-C1-1 メディア概念を問い直す 情報科教員養成課程における授業プラン
吉岡 有文(立教大学)
- 1-C1-2 教員のデジタルデバインドについて ―GTAによるICT指導力向上の試み―
本田 敏明・小野 なつみ・小林 朋可・二田 隆寛・前田 健人(茨城大学)
- 1-C1-3 プロジェクト管理手法を活用した問題解決指導法開発のための予備実践
佐藤 克己(株式会社インフォスクリー)・
林 直宏(株式会社アイキューブドシステムズ)・樫山 淳雄・宮寺 庸造(東京学芸大学)
- 1-C1-4 高校における遠隔学習スキル育成プログラムの開発と評価
鷹岡 亮・霜川 正幸・阿濱 茂樹(山口大学)・渡辺 芳雅(誠英高等学校)
- 1-C1-5 新入生のタイピング能力は何と影響するのか？
岩田 一男(北九州市立大学)

【D会場】 1-D1「教材開発と実践」
座長 江島 徹郎(愛知教育大学) 立野 貴之(松蔭大学)

- 1-D1-1 スケジュールリングを教授するActivity ―地域素材を活用したCSアンプラグド―
福岡 久雄(東京電機大学)
- 1-D1-2 電子地図についての学習の検討と実践
江島 徹郎・梅田 恭子・齋藤 ひとみ・野崎 浩成(愛知教育大学)・
上條 大樹(八王子市立松が谷小学校)
- 1-D1-3 プレゼンテーション教育における「ビブリオバトル」を題材とした口頭発表の導入実習
小野 永貴(筑波大学大学院)
- 1-D1-4 ビジネスゲームを利用した授業実践の満足度に関わる要因に着目した分析
立野 貴之(松蔭大学)・加藤 由樹(相模女子大学)・加藤 尚吾(東京女子大学)
- 1-D1-5 協働型プロジェクトを促進させる形成的アセスメントの開発
後藤 貴裕(東京学芸大学附属国際中等教育学校)・
木谷 紀子・伊藤 顕孝・鈴木 久・星 千枝(ベネッセコーポレーション)

- 【E会場】 1-E1 「情報モラル教育」**
座長 梅田 恭子(愛知教育大学) 阿濱 茂樹(山口大学)
- 1-E1-1 小中高校における情報モラル講習の展開
 高橋 等・永田 奈央美(静岡産業大学)
- 1-E1-2 協調的学習を目的とした情報モラル教材の開発 ～反転学習に適応させた教材の検討～
 阿濱 茂樹・鷹岡 亮・霜川 正幸・沖林 洋平(山口大学)
- 1-E1-3 マンガを用いた情報モラルの意識調査
 布施 泉(北海道大学)・高瀬 敏樹(北海道札幌旭丘高等学校)
- 1-E1-4 適切な商取引の学習における作問演習の方法の比較
 梅田 恭子・服部 慎吾・野崎 浩成・江島 徹郎(愛知教育大学)
- 1-E1-5 中国大学生の情報倫理意識と行為に関する研究
 黄 松愛(東北師範大学)・布施 泉・岡部 成玄(北海道大学)
- 【A会場】 総会 7月19日(土) 14:25～15:05**
- 【A会場】 開催校挨拶 7月19日(土) 15:05～15:15**
- 【A会場】 基調講演 7月19日(土) 15:15～15:45**
 『普通教科「情報」、専門教科「情報」をメジャーな教科にするための条件』
 岡本 敏雄(本学会会長・京都情報大学院大学)
- 【A会場】 招待講演1 7月19日(土) 15:50～16:30**
 『教育の情報化の動向』
 豊嶋 基暢(文部科学省生涯学習政策局情報教育課 課長)
- 【A会場】 招待講演2 7月19日(土) 16:30～17:30**
 『韓国の高等学校の情報教育の現状』
 金 顯哲(高麗大学校・韓国コンピュータ教育学会会長)
- 【F会場】 ワークショップ 7月19日(土) 17:30～18:30**
 『タンジブルブロックを利用した授業展開』
 権 大容, 沈 載權(高麗大学校)

第2日 2014年7月20日 (日)

研究発表2 : 口頭発表 7月20日 (日) 9:15~10:30

【B会場】 2-B2「アルゴリズム」

座長 香山 瑞恵(信州大学) 齋藤 ひとみ(愛知教育大学)

- 2-B2-1 アルゴリズム学習における適応的課題作製のための
アルゴリズム難易度評価基準に関する基礎的検討
不破 みのり(信州大学大学院)・香山 瑞恵・橋本 昌巳・大谷 真(信州大学)
- 2-B2-2 アルゴリズム教育における制約の効果に関する検討
齋藤 ひとみ(愛知教育大学)・下村 舞(大阪教育大学大学院)・
福岡 弘樹(愛知教育大学)・梅田 恭子・江島 徹郎・野崎 浩成(愛知教育大学)
- 2-B2-3 SP表分析に基づく「アルゴリズム」単元の学習に適した課題形式の整理
香山 瑞恵・國宗 永佳・橋本 昌巳・大谷 真(信州大学)
- 2-B2-4 数的思考を意識したアルゴリズムに関する反転授業の一提案
小松川 浩(千歳科学技術大学)
- 2-B2-5 非情報系学生に対するプログラミング教育で何を教えるか
並べ替えを利用した一つの試みの紹介
室谷 心(松本大学)

【C会場】 2-C2「情報の科学」

座長 神藤 健朗(東京都市大学付属中学校・高等学校) 西田 知博(大阪学院大学)

- 2-C2-1 高大連携による「情報の科学」の授業設計
西田 知博(大阪学院大学)・横山 成彦(大阪学院大学高等学校)
- 2-C2-2 科学リテラシーとしての「情報の理」学教育の試み
竹田 正幸(九州大学大学院)・島田 敬士・緒方 広明(九州大学)
- 2-C2-3 初等から高等教育の接続を意識したフーリエ級数による情報の表現に関する授業提案
池田 大輔(九州大学大学院)
- 2-C2-4 POSシステムの設計とデータ分析を意識したデータベースの授業展開について
神藤 健朗(東京都市大学付属中学校・高等学校)
- 2-C2-5 ネットワークプロトコルの基本原理に関する学習教材の設計と開発
箕 浦航(信州大学大学院)・香山 瑞恵・不破 泰・橋本 昌巳・大谷 真(信州大学)

【D会場】 2-D2「カリキュラム・評価」

座長 波多野 和彦(江戸川大学) 長谷川 理(信州大学)

- 2-D2-1 教科横断型情報教育「情報の時間」8年間の成果とネクストフェーズへの課題
安谷 元伸(滋賀大学教育学部附属中学校)
- 2-D2-2 学習指導要領改訂後の愛知県立高等学校における共通教科情報科の実施状況
深谷 和義(椙山女学園大学)
- 2-D2-3 大学初年次教育におけるプレイスメントテストの結果から見える
高校「情報」科目の現状とその対応
長谷川 理・香山 瑞恵・鈴木 彦文・時田 真美乃・不破 泰(信州大学)
- 2-D2-4 特色ある教育を活かすためのカリキュラムの工夫や課題の開発
～多様な制約条件をクリアするために～
中村 佐里(自由学園女子部高等科)・波多野 和彦(江戸川大学)
- 2-D2-5 共通教科「情報」における情報的な見方・考え方を育成するカリキュラムの開発
本郷 健(大妻女子大学)・本村 猛能(群馬大学)・山本 利一(埼玉大学)

【E会場】**2-E2「教員養成・著作権教育」**

座長 杉浦 裕孝(愛知県立豊田東高等学校) 高橋 参吉(帝塚山学院大学)

- 2-E2-1 創作性に関する意識向上を図る著作権教育の実践
布施 泉・岡部 成玄(北海道大学)・牧野 圭一(京都造形芸術大学)
- 2-E2-2 情報科の授業と文化祭での生徒活動の連携による著作権教育
～著作権の例外規定と同一性保持権～
天良 和男(東京都立小石川中等教育学校)
- 2-E2-3 DVD教材やタブレット端末を利用した情報倫理授業
高橋 参吉(帝塚山学院大学)・村田 紗基(帝塚山学院大学大学院)
- 2-E2-4 教員を養成するための新しい取組み ～TAを通じた高大連携による授業環境づくり～
杉浦 裕孝(愛知県立豊田東高等学校)・
山田 果林・天羽 康・森永 敦樹(愛知教育大学附属高等学校)・
江島 徹郎・齋藤 ひとみ・高橋 岳之・野崎 浩成・梅田 恭子(愛知教育大学)
- 2-E2-5 共通教科情報科の授業のProcess Modelsを支援するシステムの概要と構想
浅羽 修丈(北九州市立大学)・大倉 孝昭(大阪大谷大学)・
西野 和典(九州工業大学大学院)

研究発表3：口頭発表 7月20日(日) 10:45～12:30**【B会場】****2-B3「プログラミング教育」**

座長 江見 圭司(京都情報大学院大学) 池田 勇(嘉麻市教育センター)

- 2-B3-1 小学校でのプログラミング学習～カリキュラム内への組み入れ事例紹介～
池田 勇(嘉麻市教育センター)・西野 和典(九州工業大学大学院)
- 2-B3-2 授業実践:データの分析からプログラミングまで
—「すべての高校生にプログラミングを」その2—
齋藤 実(埼玉県立大宮高等学校)
- 2-B3-3 プログラミング教育におけるラーニング・アナリティクスの可能性
—教育用プログラミング実行環境「ますめ」による実践を通じて—
藤岡 健史(京都市立西京高等学校)・荻野 哲男(神戸大学)
- 2-B3-4 HTML5時代の情報教育
江見 圭司(京都情報大学院大学)
- 2-B3-5 FreeBeeを用いたプログラミング教育の実践
尋木 信一(有明工業高等専門学校)

【C会場】**2-C3「大学連携」**

座長 金子 大輔(北星学園大学) 西端 律子(畿央大学)

- 2-C3-1 大学間連携による情報基礎知識調査の比較
金子 大輔(北星学園大学)・石田 雪也(千歳科学技術大学)・
吉川 雅修・小俣 昌樹(山梨大学大学院)・西端 律子(畿央大学)
- 2-C3-2 新入生に対する情報教科プレイスメントテスト結果における学部間の傾向分析
吉川 雅修・小俣 昌樹(山梨大学大学院)・石田 雪也(千歳科学技術大学)・
西端 律子(畿央大学)・金子 大輔(北星学園大学)
- 2-C3-3 8大学共通の情報教科プレイスメントテストにおける出題範囲の検証
小俣 昌樹・吉川 雅修(山梨大学大学院)・金子 大輔(北星学園大学)・
石田 雪也(千歳科学技術大学)・西端 律子(畿央大学)
- 2-C3-4 大学連携による情報教材開発
石田 雪也(千歳科学技術大学)・金子 大輔(北星学園大学)・
吉川 雅修・小俣 昌樹(山梨大学大学院)・西端 律子(畿央大学)

- 2-C3-5 教育学系新入生を対象とした情報基礎知識調査と情報の科学的理解
西端 律子(畿央大学)・金子 大輔(北星学園大学)・石田 雪也(千歳科学技術大学)・
小俣 昌樹・吉川 雅修(山梨大学大学院)・冬木 正彦(畿央大学)

【D会場】

2-D3「次期の情報科教育」

座長 松田 稔樹(東京工業大学) 夜久 竹夫(日本大学)

- 2-D3-1 初等中等教育の一貫した新しい情報教育の在り方 ～高等学校における学習内容の提案～
天良 和男(東京都立小石川中等教育学校)・武村 泰宏(大阪芸術大学)・
松原 伸一(滋賀大学)
- 2-D3-2 情報科教育の課題と改善の方向性に関する考察
松田 稔樹(東京工業大学大学院)
- 2-D3-3 国際バカロレア(IB)プログラムにおける情報科カリキュラムの展開
中條 道雄(関西学院大学)
- 2-D3-4 情報活用能力の再規定と発達段階に応じた指導内容の提案
— 教育課程改訂を見据えて —
久野 靖(筑波大学)・岡本 敏雄(京都情報大学院大学)・小泉 力一(尚美学園大学)・
宮寺 庸造(東京学芸大学)・夜久 竹夫(日本大学)
- 2-D3-5 高等学校情報科カリキュラムのベースとなるべき理念
— 教育課程改訂を見据えて —
夜久 竹夫(日本大学)・岡本 敏雄(京都情報大学院大学)・久野 靖(筑波大学)・
小泉 力一(尚美学園大学)・宮寺 庸造(東京学芸大学)

【E会場】

2-E3「教材開発と授業システム」

座長 広川 美津雄(東海大学) 山川 広人(千歳科学技術大学)

- 2-E3-1 絶滅危惧種昆虫の保護活動のための3D撮影について
岡田 工・村田 浩平・渋谷 猛久・崔 一英・木村 英樹(東海大学)
- 2-E3-2 自学自習向けのHTML5学習教材の開発と実践
山川 広人・長南 翔太(千歳科学技術大学)・
梅津 敬太・山口 潤・村上 和希・高野 泰臣(千歳科学技術大学大学院)・
林 康弘・小松川 浩(千歳科学技術大学)
- 2-E3-3 オンラインストレージを利用したグループ学習における授業外学習の試み
広川 美津雄・岡田 工(東海大学)
- 2-E3-4 情報科における授業支援システムの構築と反転授業
天良 和男(東京都立小石川中等教育学校)

発表【A会場】 デモンストレーション発表 発表：7月20日（日）13：00～14：00
展示【学生ホール】 展示：7月20日（日）14：00～14：50

- 2-H-1 iPadと平均を用いた小学生向け「情報の周波数表示」の体感型教材
池田 大輔(九州大学大学院)
- 2-H-2 HTML5による学習教材作成用テンプレートの開発とその利用
林 康弘・長南 翔太・小松川 浩(千歳科学技術大学)
- 2-H-3 デジたまを用いた科学リテラシーとしての「情報の理」学教育
竹田 正幸(九州大学大学院)
- 2-H-4 情報通信ネットワークのプロトコルに関する基本概念理解を支援する教材
香山 瑞恵(信州大学)・箕浦 航(信州大学大学院)・
不破 泰・橋本 昌巳・大谷 真(信州大学)
- 2-H-5 Arduino上での拡張ボードを使った頭脳触発教材(TABシールド紹介)
高本 孝頼(NPO法人3Gシールドアライアンス)
- 2-H-6 Arduinoをベースとした計測制御学習の実践
坂田 圭司(東海大学)

【ポスター会場：ロビー】ポスター発表 コアタイム：7月20日（日）14：00～14：50

- 2-P-1 経験・知識の少ない教員用の教材集の試作
太田 剛
- 2-P-2 授業運営支援ツールおよびTV会議システムを利用した教育実習指導
高橋 参吉・堀内 照子(帝塚山学院大学)・稲川 孝司(大阪府立東百舌鳥高等学校)
- 2-P-3 教職員を対象とした情報モラル教育のためのLINE研修会
岡本 忠洋・鈴木 計哉・裴 蕾(九州工業大学)・
池田 勇(嘉麻市教育センター)・西野 和典(九州工業大学大学院)
- 2-P-4 3Gシールドを使ったアイデア・コンテスト募集
高本 孝頼(NPO法人3Gシールドアライアンス)

【A会場】 招待講演3 7月20日（日）15：00～16：00
『中国における情報教育の展開』
董 玉琦（東北師範大学・中国教育部 基礎教育課程教材専門家委員会
情報技術学科 実行委員）

【A会場】 パネルディスカッション 7月20日（日）16：10～17：40
『情報科教育の国際比較』
司 会：西野 和典(九州工業大学大学院)
パネリスト：金 顯哲（高麗大学校）
董 玉琦（東北師範大学）
指定討論者：岡本 敏雄（本学会会長・京都情報大学院大学）

【A会場】 クロージング 7月20日（日）17：40～18：00

東海・中部支部設立

東海・中部支部事務局長 江島徹郎（愛知教育大学）

2014年3月16日（日）愛知大学名古屋キャンパスにて東海・中部支部設立総会を開催した。総会では、支部の役員・評議員が設立され、規約等が承認された。

記念講演会では、岡本敏雄会長から『教科「情報」をメジャーにする条件』と題する講演が行われ、講演後の質疑応答も活発に交わされた。

その後、「プログラミング教材についての実演と体験」というテーマでワークショップが開かれた。参加者は、発表を聞くだけでなく、コンピュータを持ち込み、ネットワークに接続して、その場で実際にプログラミング教材を体験した。尚、設立総会とワークショップの参加者は、45名であった。

総会終了後、懇親会が行われて、28名の参加者により情報交換が行われた。

東海・中部支部の役員・評議員と設立総会のプログラムは以下の通りである。

役員	理事	香山 瑞恵（信州大学）	: 支部長
		矢野 宏彦（愛知県立江南高等学校）	: 副支部長
		亀山 弘（岐阜県教育委員会）	: 副支部長
		江島 徹郎（愛知教育大学）	: 事務局長
		梅田 恭子（愛知教育大学）	: 会計
		高納 成幸（岐阜女子大学）	
		高橋 等（静岡産業大学）	
		的場 照祥（三重県立亀山高等学校）	
		水野 修治（愛知県立岡崎商業高等学校）	
		脇田 俊幸（中京大学附属中京高等学校）	
	監事	北 栄輔（名古屋大学）	
		和田 隆夫（トライデントコンピュータ専門学校）	
	顧問	西 正明（信州大学）	
		和田 勉（長野大学）	
	評議員	加藤 和幸（金城学院高等学校）	
		萱津 理佳（長野県短期大学）	
		近藤 敏文（愛知県立天白高等学校）	
		齋藤 ひとみ（愛知教育大学）	
		永田 奈央美（静岡産業大学）	
		中西 渉（名古屋高等学校）	
		野崎 浩成（愛知教育大学）	
		室谷 心（松本大学）	
		山下 智之（愛知県総合教育センター）	



日時：2014年3月16日（日）13:00-16:30

場所：愛知大学名古屋キャンパスL807

【プログラム】

13:00-13:30	総会の開会	議長の選出 議事（支部規約と役員承認） 挨拶 東海・中部支部 支部長
13:30-14:40	記念講演	日本情報科教育学会会長 岡本敏雄
14:50-16:30	ワークショップ	14:50-15:35 「授業運営支援機能を有する初学者向けビジュアルプログラミング環境AT」 香山瑞恵 國宗永佳（信州大学） 15:45-16:30 「フローチャートによるプログラミング実習」 中西渉（名古屋高等学校）
16:30	閉会の挨拶	
17:30-19:00	懇親会	（キリンシティのセンチュリー豊田ビル店）

第2回研究会 報告

近畿・北陸支部副支部長 稲川孝司（大阪府立東百舌鳥高等学校）

大阪で行われた日本情報科教育学会第2回研究会は12件の発表があり、岡本会長を含め45名の参加で活発な意見交換が行われました。また、懇親会にも、30名ほどの参加者がありました。

研究発表プログラムは、以下の通りです。

日本情報科教育学会第2回研究会

日時：2014年3月22日(土) 10:30～16:50

場所：大学コンソシアム大阪（キャンパスポート大阪内）

発表1 (10:30～12:00)

1. 中学校版情報教育「情報の時間」による生徒の変容と成果
安谷 元伸（滋賀大学教育学部附属中学校）
2. 愛知県立高等学校における情報科教員の情報科と他教科担当の現状
深谷 和義（椋山女学園大学教育学部）
3. 職業能力評価基準と情報科教育の目標に対する考察（3）
高橋 朋子（特定非営利活動法人学習開発研究所）
4. コンピュータリテラシー授業のタイピング調査
岩田 一男（北九州市立大学情報総合センター）

発表2 (13:30～15:00)

5. “Shut down or Restart?” –イギリスにおける情報科教育再生の試み
中條 道雄（関西学院大学）
6. 情報安全に関するアンケート調査結果とその考察
— 中学生・高校生・大学生を対象として —
横山 成彦（大阪学院大学高等学校） 松原 伸一（滋賀大学）
7. 授業の設計力と実践力を同時に育成するための力量形成モデルに基づいた
情報科における授業研究とその評価
金田 健太（東京学芸大学） 森本 康彦（東京学芸大学） 宮寺 庸造（東京学芸大学）
8. 学習進行図を用いた学習者中心型授業の提案と授業支援システムを用いた授業実践
天井 崇人（東京学芸大学） 森本 康彦（東京学芸大学） 宮寺 庸造（東京学芸大学）

発表3 (15:15～16:45)

9. 学習活動のバランスと生徒による主体的な学習を考慮に入れたネットワークの指導
田崎 丈晴（東京都千代田区立九段中等教育学校）
10. ビッグデータ分析の授業実践
勝田 浩次（大阪府立東百舌鳥高等学校） 稲川 孝司（大阪府立東百舌鳥高等学校）
田中 宏樹（大阪府立枚方高等学校） 今井 尚人（大阪府立三原高等学校）
11. スマホアプリ作成を用いたプログラミング指導
鹿野 利春（石川県立金沢二水高等学校）
12. App Inventor を使ったプログラミング教育の試み
五月女 仁子（日本女子体育大学）

九州・中国・四国支部2013年度総会ならび研究会報告

九州・中国・四国支部事務局長 池田勇（嘉麻市教育センター）

2014年3月22日（土）13時から総会を行い、その後、第6回研究会を開催しました。LINE株式会社の高橋誠氏から「LINEの活用や利用上の注意について」講演を頂き、情報モラルに関する3件の研究発表を行いました。

研究会には、60人が参加し活気ある研究会となりました。熊本県内の学校教員や企業からの参加も多く、後援の九州ICT教育支援協議会に感謝申し上げます。

以下、研究会のプログラムです。

日本情報科教育学会九州・中国・四国支部 第6回研究会

日時：平成26年3月22日（土）14:20～17:30

場所：熊本城 「桜の馬場 城彩苑」多目的交流施設

主催：日本情報科教育学会 九州・中国・四国支部

後援：九州ICT教育支援協議会

14:20～14:30	開会行事（支部長挨拶）
14:30～14:50	問題提起 桑崎剛（熊本市立総合ビジネス専門学校） ネットモラルの小中高生の現状
15:00～16:00	講演 高橋誠様（LINE株式会社） 「LINEの活用や利用上の注意について」
16:10～17:10	論文発表 池田勇（嘉麻市教育センター） LINE利用トラブル後の指導実践～中学生の情報発信～ 山下裕司（山口県立岩国高等学校） 課金ゲームを断罪する 豊瀬仁須（田川市立田川中学校） 中学校での情報モラル学習におけるERICAの活用
17:10～17:30	参加企業・団体から一言
17:30	閉会

*閉会后、懇親会を開催、39名が参加しました。



事務局からのお知らせ

<2014年度総会について>

日本情報科教育学会2014年度の総会を2014年7月19日（土）14:25～15:05、千歳科学技術大学において行います。

<学会事務局の体制>

事務局の体制（役割分担）が以下のようになります。

- | | |
|-------------|-------|
| □ 事務局長 | 高橋 参吉 |
| □ 庶務担当 | |
| 学会等連絡, ML担当 | 森本 康彦 |
| 会員入会, 名簿担当 | 池田 勇 |
| □ 会計担当 | 中島 康裕 |
| □ 研究会・学会誌担当 | 梅田 恭子 |

<事務局メールアドレスの変更>

事務局のメールアドレスが、7月19日（土）以降、jaeis-jimu@jaeis.org に変更になります。

事務局新メールアドレス：jaeis-jimu@jaeis.org

日本情報科教育学会ニュースレター No. 18 2014年07月18日

発行所 日本情報科教育学会事務局 <http://jaeis.org/>

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-14-2（新陽ビル7階）

TEL : 03-5155-7576 FAX : 03-5155-7578 E-mail : jaeis-jimu@jaeis.org

発行責任者 広報委員会

委員長：西端律子（畿央大学） 副委員長：森本康彦（東京学芸大学）

委員：池田勇（嘉麻市教育センター）、鹿野利春（石川県立金沢二水高等学校）、鷹岡亮（山口大学）、竹中章勝（清教学園中・高等学校）、中西渉（名古屋高等学校）、布施泉（北海道大学）